

平成 30 年度 京都大学大学院理学研究科 数学・数理解析専攻

数学系・数理解析系 入学試験問題

英語

- ◎ 問題は 2 題ある。2 題とも解答せよ。
- ◎ 解答時間は 1 時間 である。
- ◎ 辞書・参考書・ノート類・電卓・携帯電話・情報機器・時計等の持ち込みは 禁止 する。指定された荷物置場に置くこと。

[注意]

1. 指示のあるまで問題冊子を開かないこと。
2. 答案用紙・下書用紙のすべてに、受験番号・氏名を記入せよ。
3. 解答は問題ごとに別の答案用紙を用い、問題番号を各答案用紙の枠内に記入せよ。
4. 1 問を 2 枚以上にわたって解答するときは、つづきのあることを用紙下端に明示して次の用紙に移ること。
5. 提出の際は、上から答案用紙(問題番号順)、下書用紙の順に重ね、記入した面を外にして一括して二つ折りにして提出すること。
6. この問題用紙は持ち帰ってよい。

1 次の英文の下線部を日本語に訳せ.

...

(原文省略)

...

(R. Daniel Mauldin, “The Scottish Book: Mathematics from the Scottish Café”
Birkhäuser, 1981 年, 113 ページ (一部改変))

注

set of first category: ベール (Baire) の第 1 類集合.

2 \mathbb{R} を実数全体の集合とする. \mathbb{R} 上の実数値関数 $f(x)$ が連続であること, および一様連続であることの定義をそれぞれ英語で書け. ただし, 論理記号 ($\forall, \exists, \Rightarrow, \Leftarrow, \Leftrightarrow$ 等) と極限を表す記号 (\lim 等) を使ってはならない.